

2023（令和 5）年度
東京都立産業技術高等専門学校の
卒業生・修了生の評価等に関する企業の意識調査
調査結果報告書

令和 6 年 2 月

東京都立産業技術高等専門学校

目次

調査概要	1
1. 調査目的	1
2. 調査対象	1
3. 調査手法	1
4. 回収結果	1
5. 調査期間	1
6. 分析の基本方針等	1
第1部 卒業生の雇用就業を取り巻く現状の分析	3
1. 雇用就業施策の動向	4
2. 企業における雇用状況	5
3. 高専生の就職状況	6
第2部 調査結果報告	7
第3部 調査結果報告まとめ	21
第4部 設問及び単純集計	25
1. 回答いただいた企業について	26
2. 本科卒業生に対する設問	26
3. 選考化修了生に対する設問	35

調査概要

1.調査目的

「卒業生・修了生の評価等に関するアンケート」では、企業から見た東京都立産業技術高等専門学校（以下「本校」という。）の卒業生（修了生を含む、以下同じ）に対する評価や要望を把握し、本校卒業生の優位点や強化すべき点などを知るとともに、教育方針及び経営戦略検討の基礎資料とすることを目的とする

2.調査対象

直近5年間（2019～2023 年度）に、本校品川キャンパス及び荒川キャンパスのキャリア支援センターに求人票を提出している企業

3.調査手法

Microsoft Forms を用いた web アンケート調査

※但し、依頼状兼回答案内を郵送で送付するとともにメールでの回答案内を実施

4.回収結果

発送数：1,793 件

回答数： 572 件

<内訳>

① 全体回答数 : 572 件

② 本科卒業生 の採用経験がある企業：313 件 ※Q7「直近5年以内+直近5年以前」の合算値

③ 専攻科修了生の採用経験がある企業： 81 件 ※Q25「直近5年以内+直近5年以前」の合算値

※第2部では上記区分で分析を実施

グラフ色が緑の場合「全体」の対象設問であることを指し、

赤の場合「本科卒業生の採用経験がある企業」の対象設問であることを指し、

青の場合「専攻科修了生の採用経験がある企業」の対象設問であることを指す。

回収率：31.9%

※2017 年調査の回収率：22.4%

2017 年調査の手法は「郵送調査（アンケート票を紙で配布し、紙で回答を得る手法）」となる

5.調査期間

2023 年 11 月 17 日（金） 【郵送】依頼状兼回答案内発送

2023 年 11 月 20 日（月） 【メール】依頼状兼回答案内発送

2023 年 12 月 11 日（月） アンケート回答締め切り

6.分析の基本方針等

・ 前回調査（2017 年調査）との比較は同一設問に限定して実施

※報告書上のコメントにおいて、比較が困難な場合はコメントの掲載はしていません。

・ 集計分析において、各セル 30 サンプル以下の内容については参考値として掲載

・ F A（自由回答）は回答内容を分類し、特徴的な内容があれば掲載

＜企業規模分類の定義＞

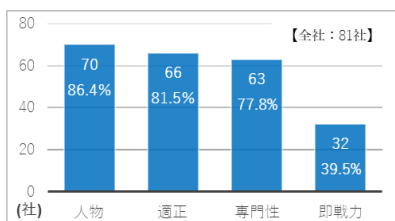
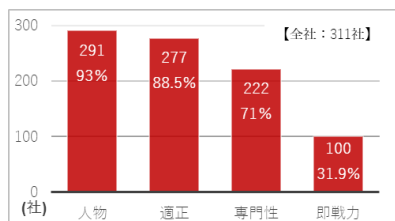
- ・ 中小企業基本法の定義をベースに作成
- ・ 業種において、卸売業と小売業が同一選択肢となっている為、卸売業を基準に作成

	Q4 S-SA	Q5 S-SA	Q6 S-SA
選択肢1	農業・林業・漁業	5,000万円未満	99人以下
選択肢2	鉱業・採石業	5,000万円以上1億円未満	100人～299人
選択肢3	建設業	1億円以上3億円未満	300人～999人
選択肢4	製造業	3億円以上	1,000人以上
選択肢5	電気・ガス・熱供給・水道業	不明／あてはまらない	不明
選択肢6	情報通信業		
選択肢7	学術研究・専門・技術サービス業		
選択肢8	卸売・小売業		
選択肢9	金融・保険業		
選択肢10	不動産・物品賃貸業		
選択肢11	宿泊・飲食サービス業		
選択肢12	生活関連サービス・娯楽業		
選択肢13	教育・学習支援業		
選択肢14	医療・福祉業		
選択肢15	複合サービス業		
選択肢16	サービス業（他に分類されないもの）		
選択肢17	公務		
選択肢18	その他（上記以外）		

Q4	Q5	Q6	分類先
8	1～2	1	中小企業
7,11,12,15,16	1	1	中小企業
1～6,9～10,13～14	1～3	1～2	中小企業
17～18			その他
上記以外			大企業

＜第2部 調査結果報告の見方＞

【グラフ】



【コメント掲載における割合の基準】

グラフを踏まえたコメント作成において、
下記基準を基に記載

- 0.0 : 0件
- 0.1～0.9割 : 1割未満
- 1.0 : 1割
- 1.1～1.4割 : 1割強
- 1.5～1.9割 : 2割弱
- (省略) --
- 8.5～8.9割 : 9割弱
- 9.0～10.0割 : 9割以上

※複数について、まとめてコメントをする
際には「最小値 以上」と記載
※割合における小数点は切り捨てにて算出

① グラフ色により回答者を区別（円グラフ、棒グラフ共）

- 緑：全企業
- 赤：本科生採用企業からの回答
- 青：専攻科生採用企業からの回答

② 回答数（全体）

- 全企業 : 572 件
- 本科生採用企業からの回答 : 313 件
- 専攻科生採用企業からの回答 : 81 件

③ 各数値について

複数回答が可能な設問では、「件数」や「%」の合算が100%を超えることがある

第 1 部

卒業生の雇用就業を取り巻く現状の分析

1.雇用就業施策の動向

東京都が作成する「雇用対策協定に基づく事業計画」によると、2023 年度時点での経済環境は回復傾向にあり、失業率においても改善傾向（完全失業者数が前年から 2.9 万人減少）にあるが、求職者が依然高い水準にあるなど一部に厳しさが見られる。

職種別で見ると、雇用吸収力の高い医療や福祉、建設、警備、運輸分野等においては有効求人倍率が高い傾向にあるが、事務職種では有効求人倍率が 1 倍を大きく下回る傾向となっており、都内における職種別での人手不足は依然として課題となっている。

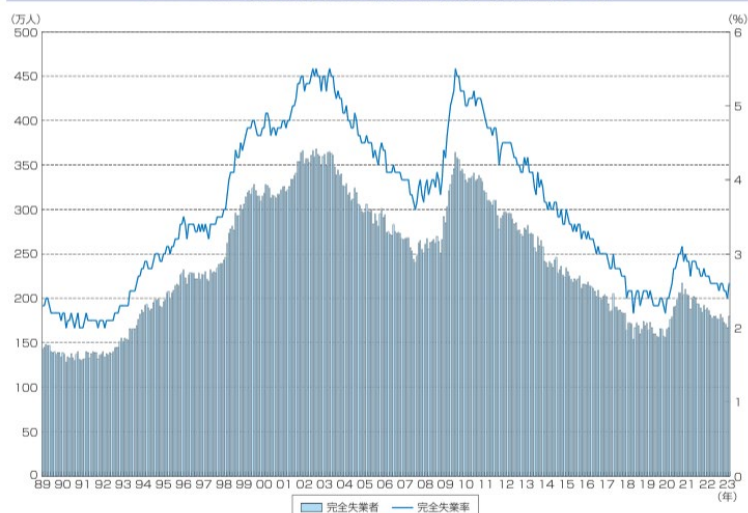
東京都では上記課題に加え、少子高齢化の進行による将来的な生産年齢人口の減少、産業全体で加速するDXやGXなど東京の雇用を取り巻く環境変化に対応し、持続的な成長を実現すべく、現下の雇用失業情勢を踏まえた雇用対策の実施に加え、労働者の能力開発を推進し、一人ひとりの労働生産性を高めていくことが不可欠であると考えている。

その上で下記施策の取り組みを実施する方針である。

- 1 就職氷河期世代に対する就労支援等の対策
- 2 若年者を中心とする正社員希望者等に対する就職支援の充実
- 3 中小企業等での人材確保対策等の強化
- 4 全員参加型社会の実現に向けた取組の強化
- 5 「ライフ・ワーク・バランス」の推進
- 6 適正な労働条件の確保へ向けた取組の実施

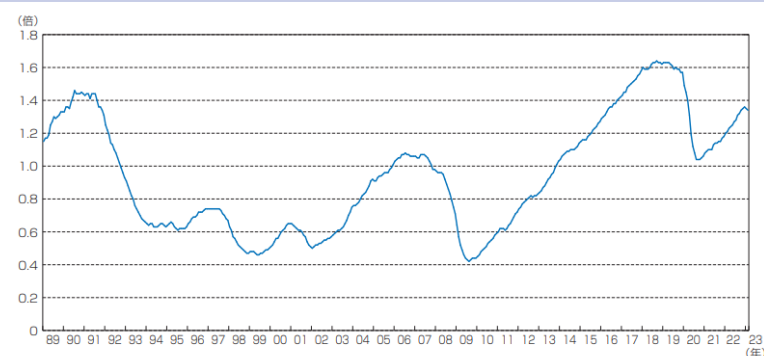
（参考：令和 5 年度版 東京都雇用対策協定に基づく事業計画 p1）

図 211-1 完全失業者数（季節調整値）及び完全失業率（季節調整値）の推移



（出典：令和 4 年度 ものづくり基盤技術の振興施策 p38）

図 211-3 有効求人倍率（季節調整値）の推移



（出典：令和 4 年度 ものづくり基盤技術の振興施策 p40）

2.企業における雇用状況

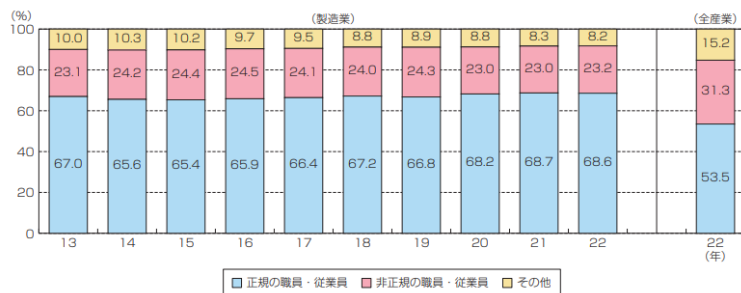
<正規・非正規雇者の割合推移>

製造業における正規及び非正規の職員・従業員の割合はいずれも 2013 年以降ほぼ横ばいで推移しており、直近の 2022 年は正規の職員・従業員が 68.6%、非正規の職員・従業員が 23.2%となっている。

また、同年の製造業と全産業における正規の職員・従業員の割合は、製造業の方が 15.1 ポイント高く、非正規の職員・従業員の割合は、全産業の方が 8.1 ポイント高くなっている。

このように、製造業は、全産業に比べて正規の職員・従業員の割合が高くなっていることが分かる。

図 212-5 正規・非正規雇者の割合の推移



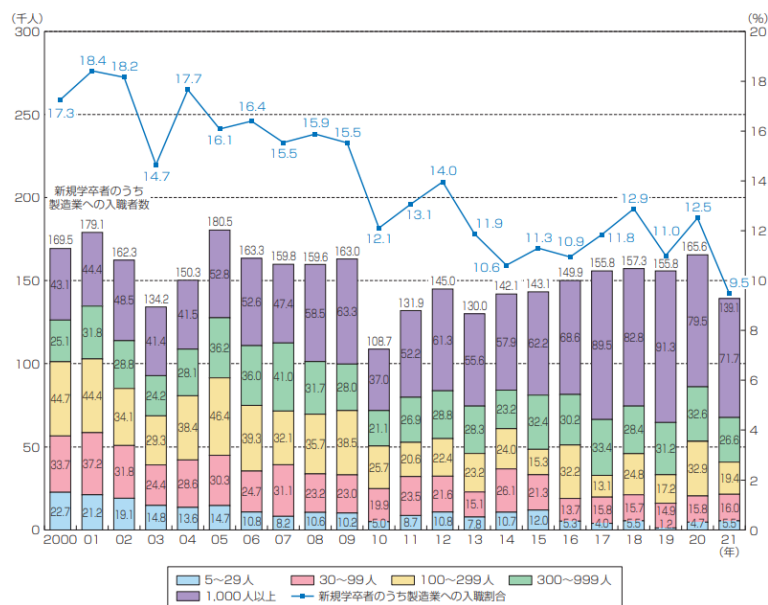
備考：「その他」は、自営業主・家族従業者、役員及び従業員上の地位不詳の方。
資料：総務省「労働力調査」（2023年3月）

（出典：令和 4 年度 ものづくり基盤技術の振興施策 p44）

<新規学卒（新卒）入職者数と製造業への入職割合の推移>

製造業における新規学卒者数は 2013 年以降増加傾向で推移しているが、直近の 2021 年は前年より約 2.7 万人減の 13.9 万人となっている。また、製造業における新規学卒入職者の企業規模別の内訳をみると、前年の 2020 年と比較し、100 人以上の企業への入職者の割合が減少している。

図 212-6 新規学卒入職者数と製造業への入職割合の推移



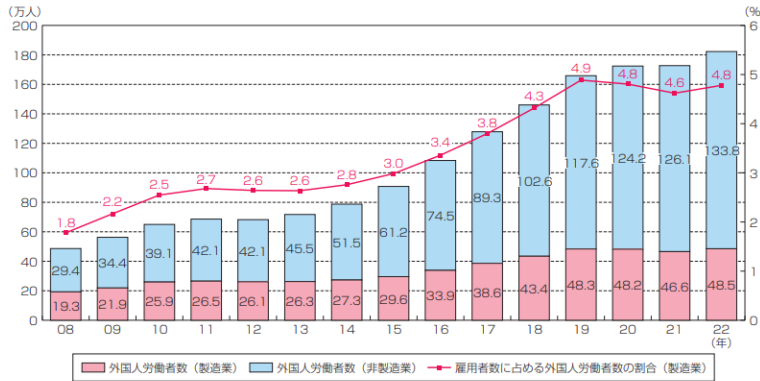
資料：厚生労働省「雇用動向調査」（2022年8月）

（出典：令和 4 年度 ものづくり基盤技術の振興施策 p45）

<製造業の外国人労働者数の推移>

製造業における外国人労働者数は、2014 年以降増加傾向で推移しており、2019 年には 48.3 万人と、2008 年に比べ約 30 万人増加した。新型コロナウイルス感染症の感染拡大もあり、2021 年には 46.6 万人と前年と比べ減少となったが、直近の 2022 年には 48.5 万人と高い水準となっている。また、その内訳は、技能実習生が 16.8 万人、特定技能を含む専門的・技術的分野の在留資格を持つ外国人が 10.7 万人となっている。製造業の雇用者数に占める外国人労働者数の割合についても、直近の 2022 年は 4.8%と、2008 年に比べ 3.0 ポイント上昇しており、ものづくりの現場で多くの外国人労働者が活躍していることが伺える。

図 212-7 製造業の外国人労働者数の推移



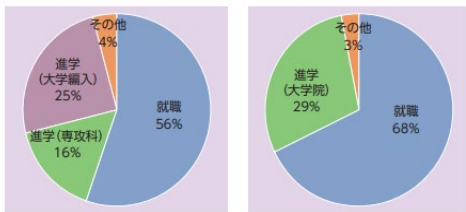
備考：雇用者数に占める外国人労働者数の割合（製造業）は、厚生労働省職業安定局「外国人雇用状況」の届出状況まとめ（各年10月末現在）及び総務省「労働力調査」（各年10月）をもとに「製造業の外国人労働者数」を「製造業の雇用者数」で除した値を厚生労働省人材開発統括官付人材開発政策担当参事官室にて算出。
資料：厚生労働省職業安定局「外国人雇用状況」の届出状況まとめ（各年10月末現在）、総務省「労働力調査」（2023年3月）

（出典：令和4年度 ものづくり基盤技術の振興施策 p46）

3.高専生の就職状況

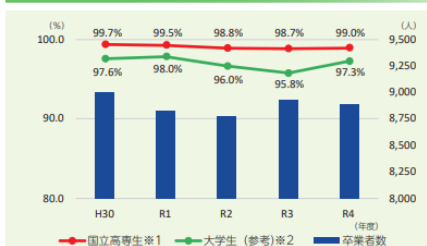
卒業生の進路状況は、就職が約 6 割、進学が約 4 割となっている。

就職先としては、研究開発・生産管理・生産現場等様々な部門で活躍しており、その確かな技術力・実践力は非常に高い評価を受けている。就職率は例年概ね 100%を達成しており、求人倍率は 20 倍を超えるなど、他の学校種に比べて極めて高い水準を維持している。



※グラフの数値は、小数点以下第1位を四捨五入しているため、個々の集計値の合計は必ずしも100%とならない場合がある。

本科卒業生のうち就職希望者の就職率



※1 令和5年5月1日現在
※2 出典：文部科学省・厚生労働省調査「大学等卒業生の就職状況調査（4月1日現在の抽出調査）」

専攻科修了者のうち就職希望者の就職率



産業就職者数（令和4年度本科卒業生）

産業	人数 (人)
製造業	2,298
情報通信業	714
建設業	512
電気・ガス・熱供給・水道業	356
学術研究・専門・技術サービス業	266
運輸業・郵便業	264
その他サービス業	167
公務員	163
卸売業・小売業	77
不動産業・物品賃貸業	58
金融業・保険業	20
生活関連サービス業・娯楽業	11
鉱業・採石業・砂利採取業	9
その他	9
医療・福祉	7
教育・学習支援業	6
複合サービス事業	5
農業・林業	2
宿泊業・飲食サービス業	2
漁業	1
合計	4,947

（令和5年5月1日現在）

主な就職先（令和3年度本科卒業生）

企業名
東海旅客鉄道株式会社
国土交通省
旭化成株式会社
関西電力株式会社
ダイキン工業株式会社
京セラ株式会社
ENEOS 株式会社
株式会社 LIXIL
株式会社メンバーズ
大阪瓦斯株式会社
出光興産株式会社
浜松ホトニクス株式会社
四国電力株式会社
パナソニックコネクト株式会社
中国電力ネットワーク株式会社
アイリスオーヤマ株式会社
富士電機株式会社
キヤノンメディカルシステムズ株式会社
三菱電機ビルソリューションズ株式会社
東京瓦斯株式会社

（令和4年5月1日現在）

（出典：2023 年度 KOSEN National Institute of Technology p16）

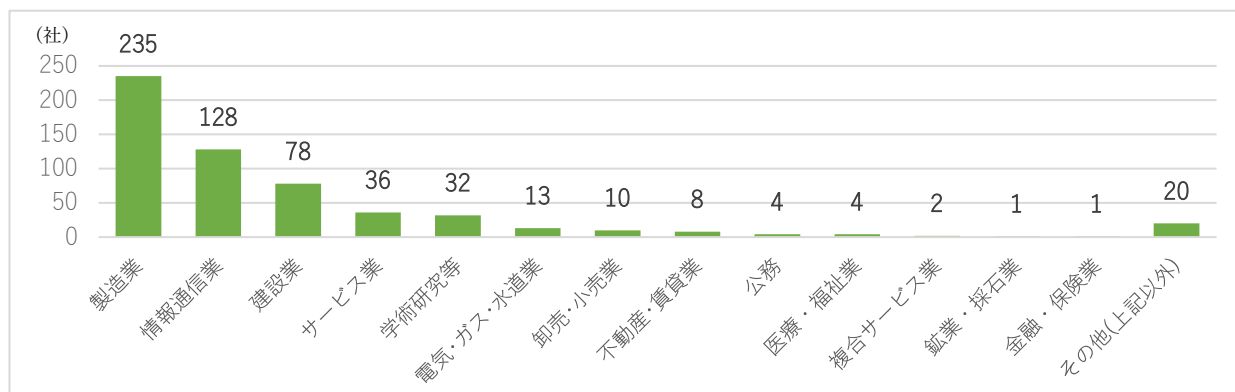
第 2 部

調査結果報告

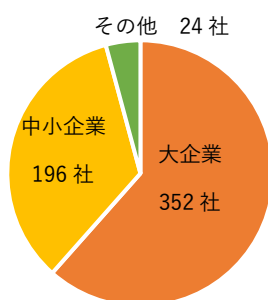
【回答企業の内訳（属性情報）】

<2023 年>

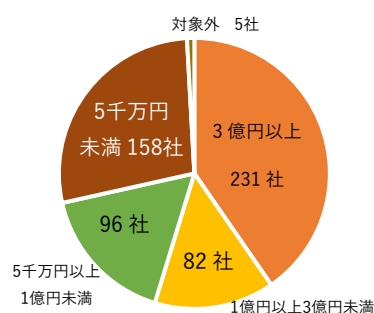
業種



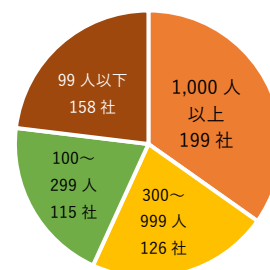
企業規模



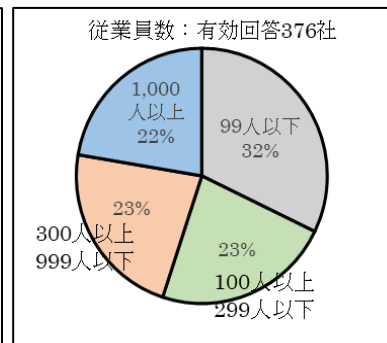
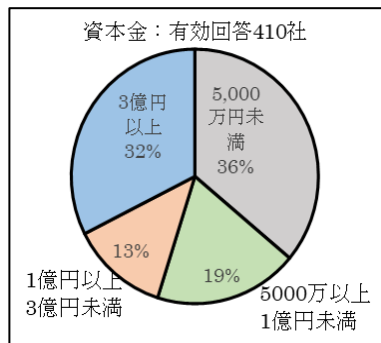
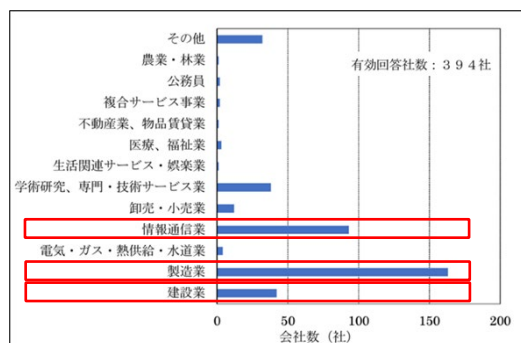
資本金



従業員数



<2017 年> ※参考データ：2017 年 調査報告書（次ページより省略）



【回答企業の内訳（属性情報）】

<2023 年>

◎回答企業の業種の上位 3 位は順に「製造業」「情報通信業」「建設業」となり、これらで全体の 8 割弱を占めている。

中でも「製造業」は全体の 4 割強を占めている。

◎回答企業の資本金の上位 3 位は順に「3 億円以上」「5,000 万円未満」「5,000 万円～1 億円未満」となり、

中でも「3 億円以上」は全体の 4 割を占めている。

◎回答企業の従業員数の上位 1 位は「1,000 人以上」となり、全体の 3 割強を占めている。

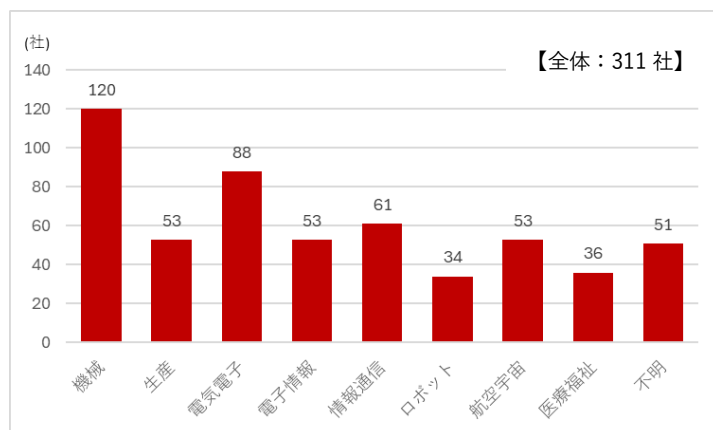
<2017 年と比較して>

◎回答企業における上位 3 業種は同じであったが、資本金では 2023 年の方が「3 億円以上」の比率が高く、従業員数では 2023 年の方が「1,000 人以上」の比率が高かった。2023 年は 2017 年と比べ、規模が大きい企業からの回答が多く集まった。

【採用コース】

<2023 年>

本科卒業生（本科採用企業からの回答(未回答は除く)）



【採用コース】

<2023 年>

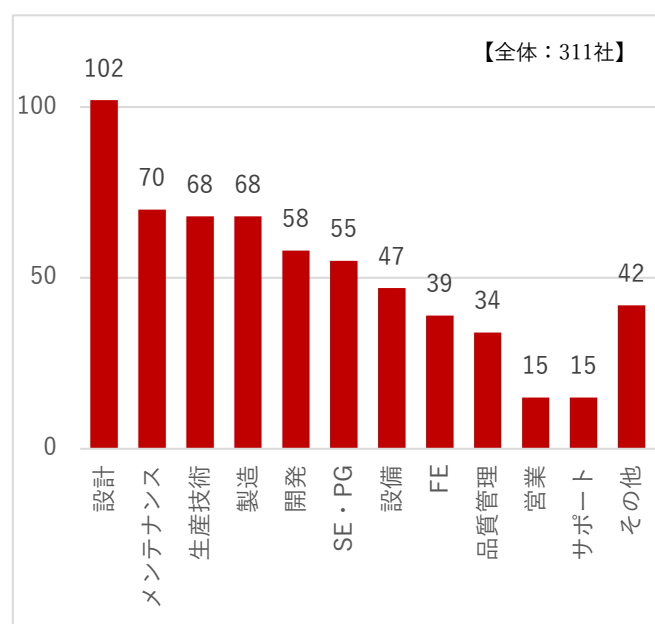
◎本科卒業生のコース上位3位は順に「機械システム工学」「電気電子工学」「情報通信工学」となるが、全コースで一定以上の回答があることから、いずれのコースの卒業生を採用した企業からも満遍なく回答が得られていることが分かる。

この為、本調査結果は「特定のコースの卒業生に対する結果」ではなく「本科卒業生全般に対する調査結果」と言える

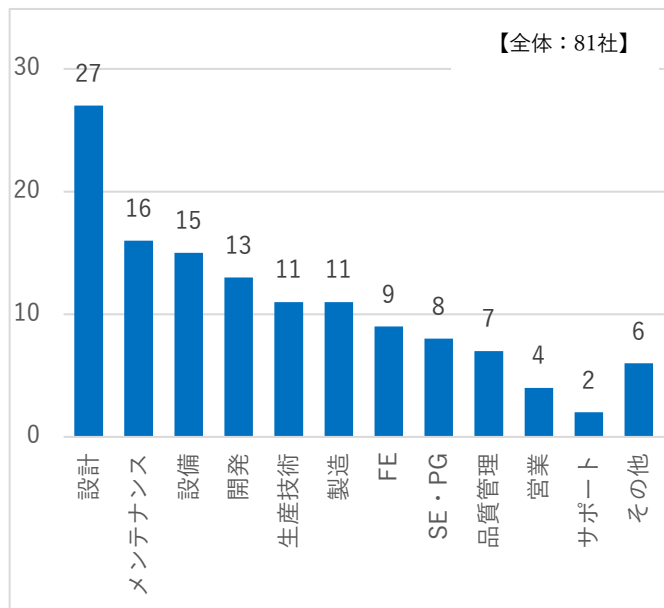
【採用職種】

<2023 年>

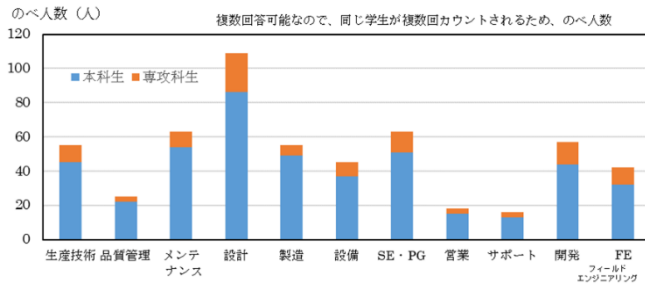
本科卒業生（本科採用企業からの回答（未回答は除く））



専攻科修了生（本科採用企業からの回答）



<2017 年>



【採用職種】

<2023 年>

◎本科卒業生の採用職種の上位 3 位は順に「設計」「メンテナンス」「生産技術（同率で製造）」となり、設計（3 割強）を除く職種では全て 2 割以上の回答を得ている。

◎専攻科修了生の採用職種の上位 3 位は順に「設計」「メンテナンス」「設備」となり、設計（3 割強）を除く職種では全て 1 割以上の回答を得ている。

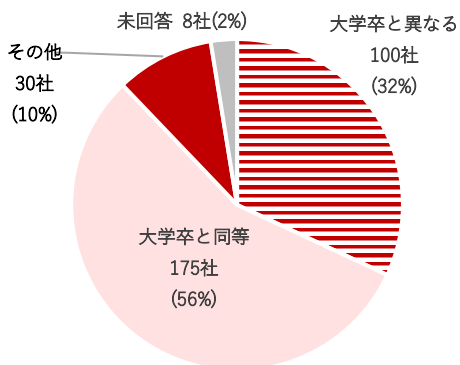
<2017 年と比較して>

◎2017 年の本科卒業生の採用職種の上位 3 位では順に「設計」「メンテナンス」「SE・PG」となっていたが、2023 年では「SE・PG」は全体順位で 5 位（本科生 6 位、専攻科生 8 位）となり、順位を下げた。

【入社後の待遇（人事・給与・昇任等）】 ※高専全般に対するの待遇を聴取

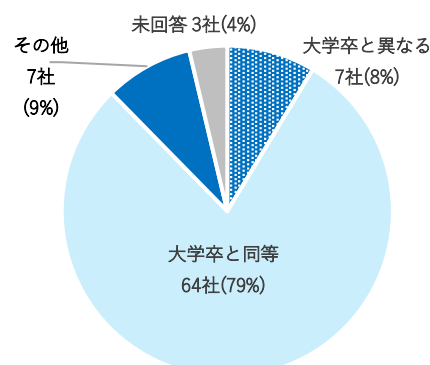
<2023 年>

高専の本科卒業生（本科生採用企業からの回答）

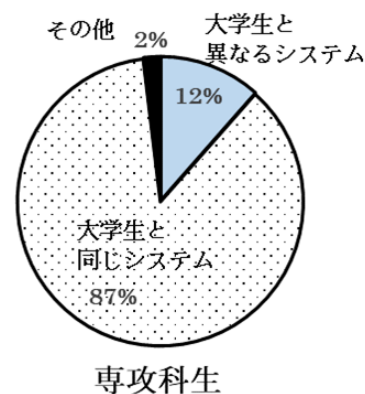
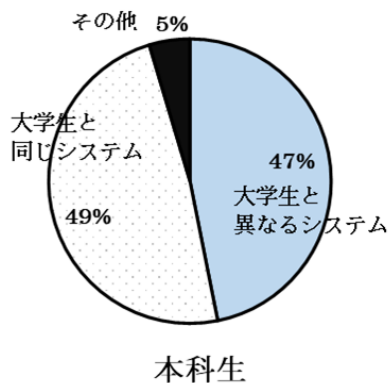


<2023 年>

高専の専攻科修了生（専攻科採用企業からの回答）



<2017 年>



【入社後の待遇（人事・給与・昇任等）】 ※高専全般に対しての待遇を聴取

<2023 年>

◎本科卒業生の入社後の待遇において「大学卒業生と同じ制度・システム」は全体の 6 割弱を占めている。

◎専攻科修了生の入社後の待遇において「大学卒業生と同じ制度・システム」全体の 8 割弱を占めている。

<2017 年と比較して>

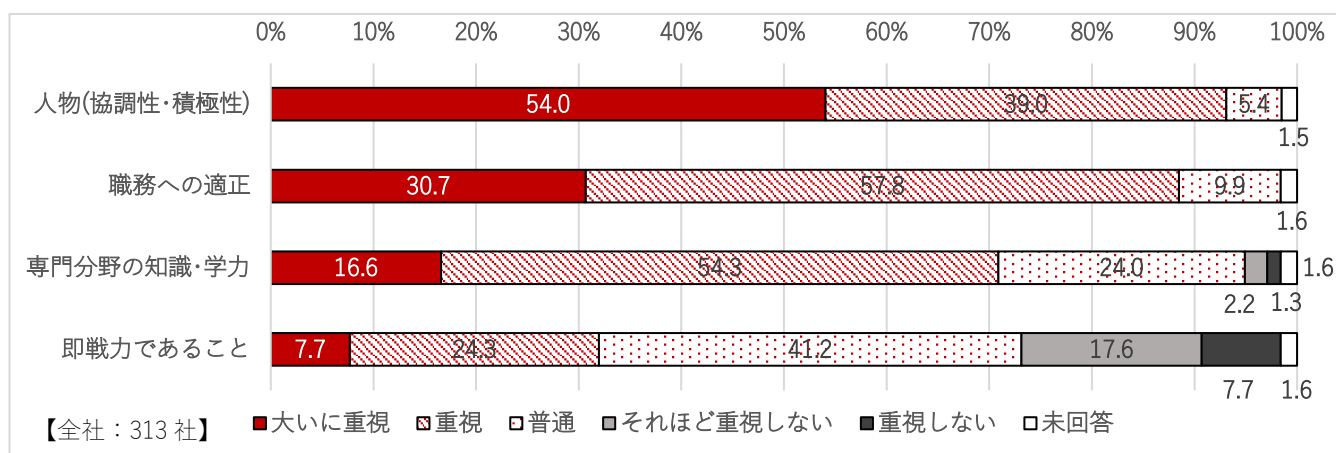
◎本科卒業生の入社後の待遇において「大学卒業生と同じ制度・システム」は 2023 年で 6 割弱、2017 年 5 割弱となる。一方で「大学卒業生と異なる制度・システム」の回答割合は 2 割弱減少しており、大学卒業生との待遇格差は減少した。

◎専攻科修了生の入社後の待遇において「大学卒業生と同じ制度・システム」は 2023 年で 8 割弱、2017 年で 9 割弱となる。回答割合は 1 割未満の減少となる。

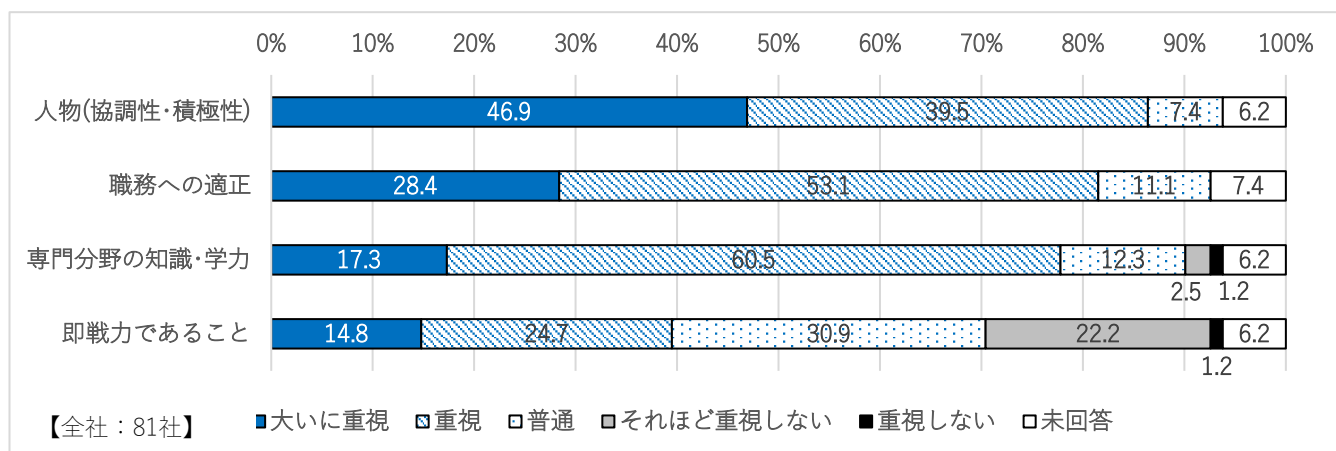
【採用にあたり重視した点】

<2023 年>

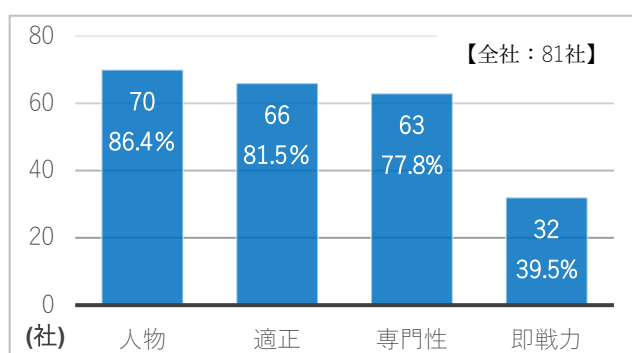
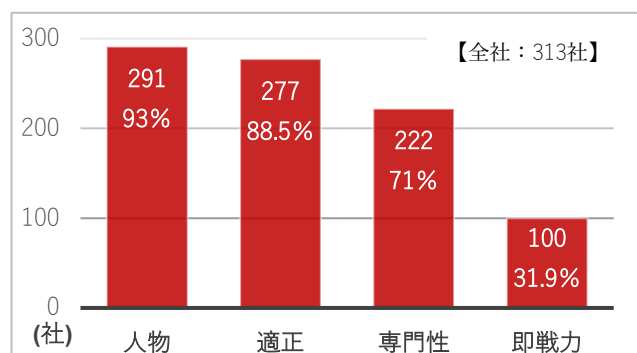
本科卒業生（本科採用企業からの回答）



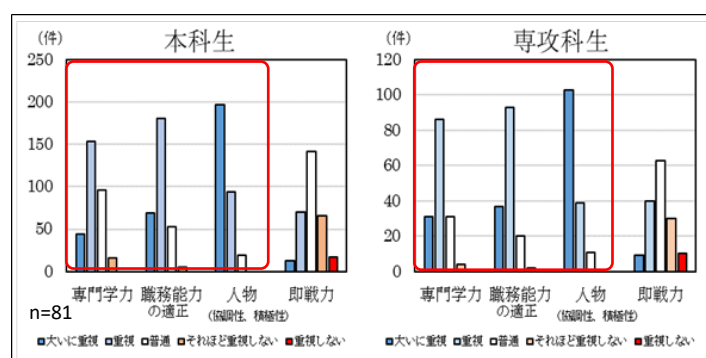
専攻科修了生（専攻科採用企業からの回答）



各項目に対し「大いに重視する」「重視する」と回答をした会社数・割合
 本科卒業生 専攻科修了生



<2017 年>



【採用にあたり重視した点】

<2023 年>

◎本科卒業生の採用で重視（大いに重視した+重視した）した点は、順に「人物（協調性・積極性）」「職務への適性」「専門分野の知識や学力」「即戦力であること」となっており、中でも「即戦力であること」以外は7割以上の回答を得ている。

◎専攻科修了生においても、本科卒業生と同様の結果であった。

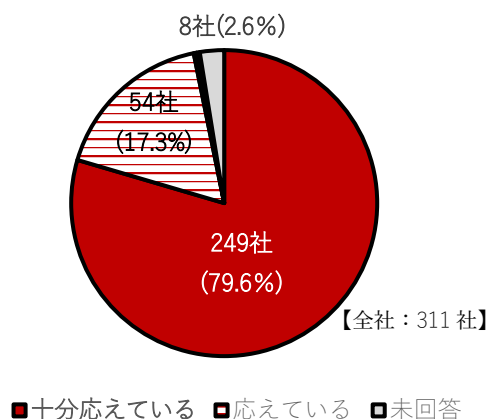
<2017 年と比較して>

◎2023 年と 2017 年を比較すると、本科卒業生、専攻科修了生のいずれも「採用で重視（大いに重視した+重視した）する点」は同様の結果であった。企業は採用活動に際して、即戦力となる人材の獲得に比べ、人物や職務適性のような「自社に合うか」を重要にしていることが窺える。

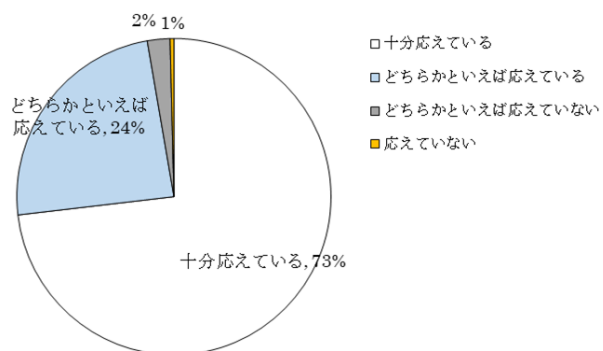
【ニーズや期待の評価】

<2023 年>

本科卒業生（本科生採用企業からの回答）



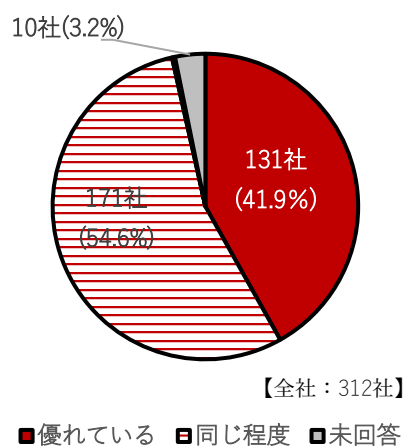
<2017 年>



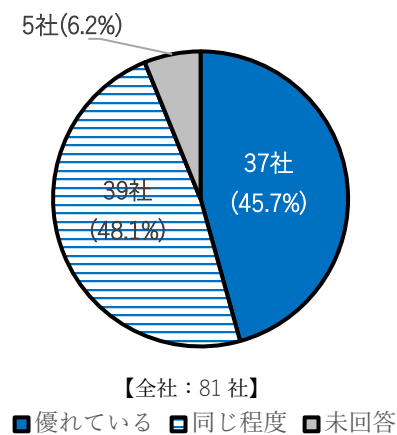
【業務遂行能力に対する評価】 ※大学卒業生や他の高専本科卒業生と比較

<2023 年>

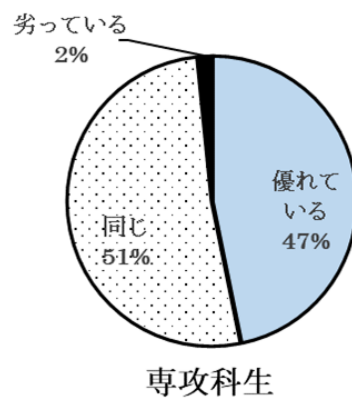
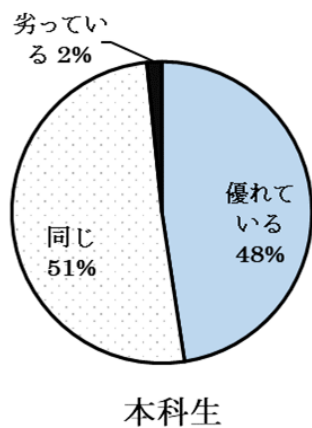
本科卒業生（本科生採用企業からの回答）



専攻科修了生（専攻科採用企業からの回答）



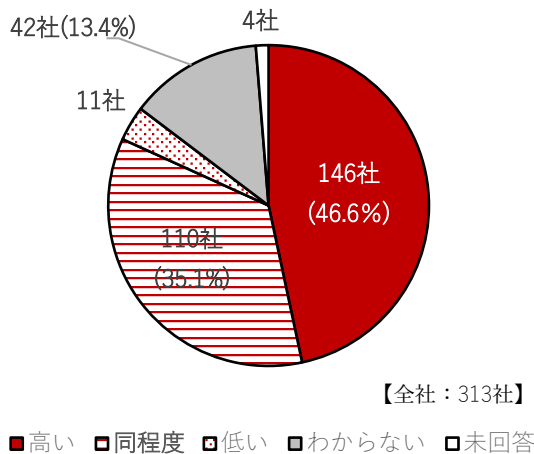
<2017 年>



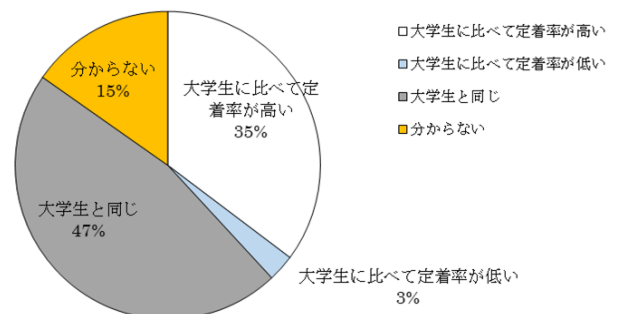
【入社後の定着率(大学卒業者との比較)】

<2023 年>

本科卒業生（本科生採用企業からの回答）



<2017 年>



【評価や定着率】

<2023 年>

- ◎本科卒業生に対するニーズや期待の評価において「応えている（十分応えている+どちらかといえば応えている）」は全体の9割以上を占めている。
- ◎本科卒業生の業務遂行能力に対する評価において「大学卒業生や他の高専本科卒業生と比べて同程度以上（優れている+同じ程度）」は全体の9割以上を占めており、専攻科修了生においても同様の結果であった。
- ◎本科卒業生の定着率において「大学卒業生と同程度以上の定着率（大学卒業生に比べて定着率が高い+大学卒業生と変わらない）」は全体の8割強を占めている。

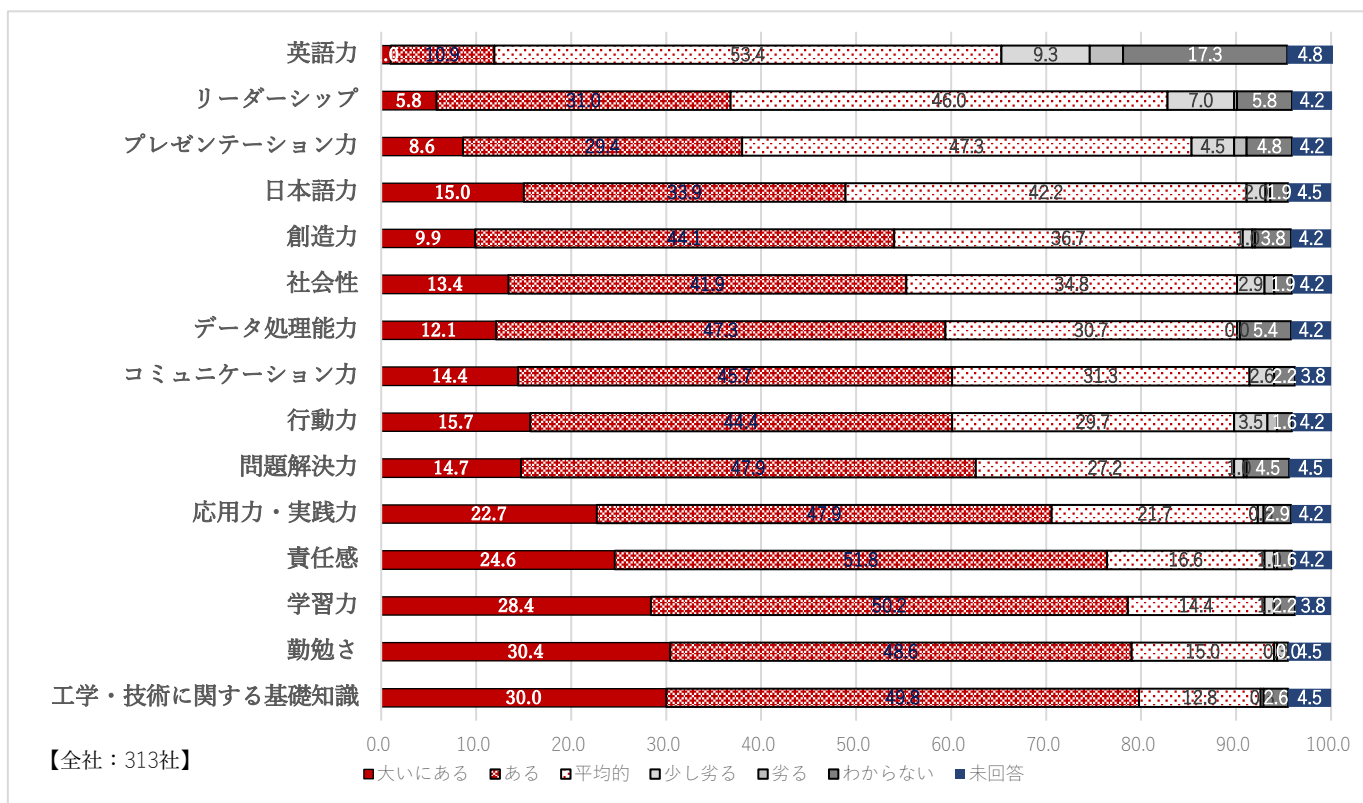
<2017 年と比較して>

- ◎2023 年の本科卒業生に対するニーズや期待の評価は 2017 年と同様の結果であった。
- ◎2023 年の業務遂行能力に対する評価についても 2017 年と同様の結果である一方で「優れている」の回答割合は、どちらの学科でも減少していることが分かった。
- ◎2023 年と 2017 年を比較すると、本科卒業生の定着率は同様の結果であった。
- ◎企業からの評価は変わらず高い水準となり、定着率についても大学卒業生と比較して遜色がないことが分かった。内訳をみると、業務遂行能力における「大学卒業生より優れている」の比率は減少し、定着率における「大学卒業生よりも定着率が高い」の比率は増加した。

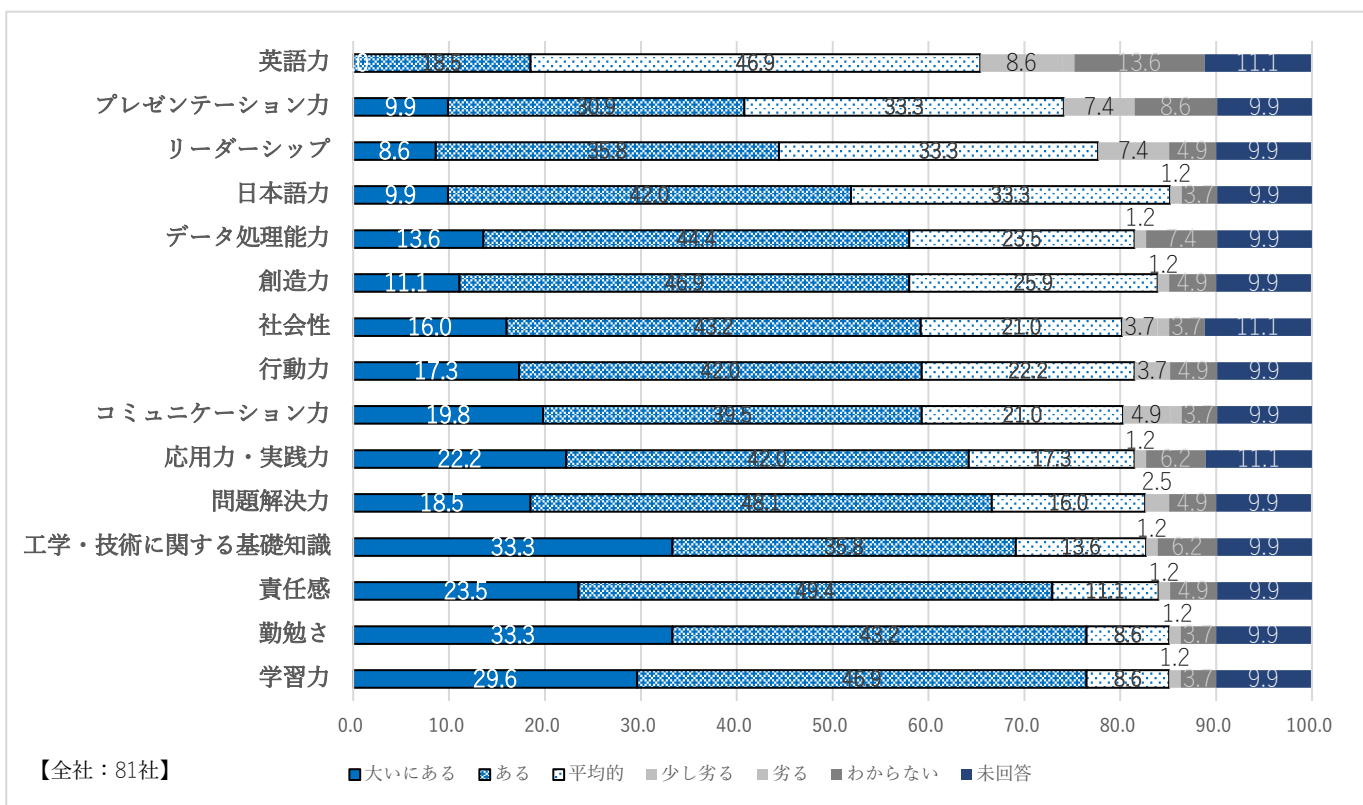
【各評価】

<2023 年>

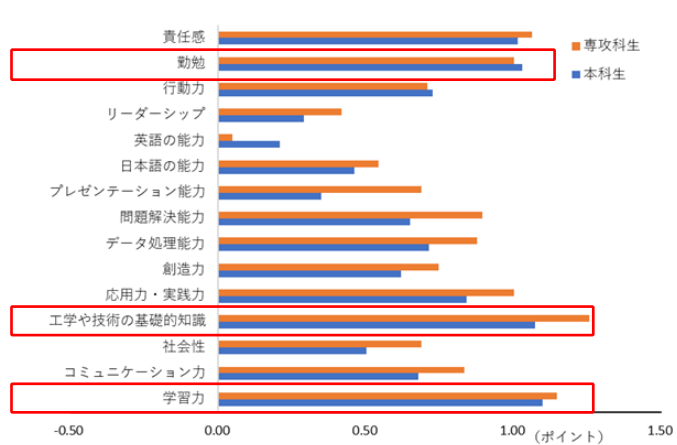
本科卒業生（本科生採用企業からの回答）



専攻科修了生（専攻科採用企業からの回答）



<2017 年>



【各評価】

<2023 年>

- ◎本科卒業生に対する各評価の上位3位は順に「工学技術に関する基礎知識」「勤勉さ」「学習力」となり、「日本語力」「プレゼンテーション力」「リーダーシップ」「英語力」を除く11項目において、「能力がある（大いにある+ある）」との回答が5割以上となる。
- ◎専攻科修了生に対する各評価の上位3位は「学習力」「勤勉さ」「責任感」となり、「リーダーシップ」「プレゼンテーション力」「英語力」を除く12項目において、「能力がある（大いにある+ある）」との回答が5割以上となる。
- ◎本科卒業生と専攻科修了生を比較すると、各評価の順位に差がみられ、特に「工学技術に関する基礎知識」については1割強の差がみられた。

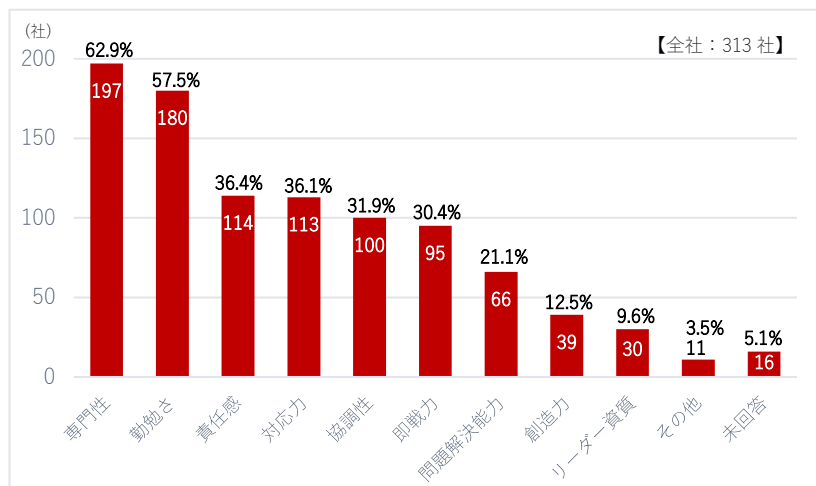
<2017 年との比較> ※2017 年では各評価を点数化し、平均での比較を実施している為、傾向での比較結果を掲載

- ◎2023 年と2017 年を比較すると、本科卒業生に対する評価において「工学技術に関する基礎知識」「勤勉さ」「学習力」が共通して評価されている項目であった。
- ◎2023 年と2017 年を比較すると、専攻科修了生に対する評価において「学習力」と「責任感」が共通して評価されている項目であった。

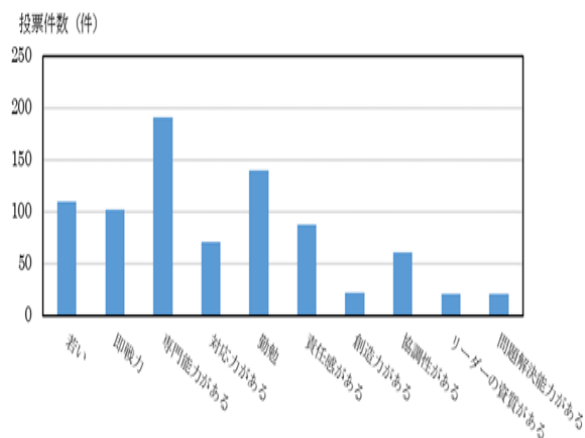
【強み（大学卒業生と比較した）】

<2023 年>

本科卒業生（本科生採用企業からの回答）



<2017 年>



【強み】

<2023 年>

◎本科卒業生の強み（大学卒業生と比較した）の上位3位は順に「専門性が高い」「勤勉である」「責任感がある」となっており、中でも「専門性が高い」「勤勉である」は5割以上が本科卒業生の強みと捉えていることが分かった。一方で「リーダーの資質がある」については1割未満となる。

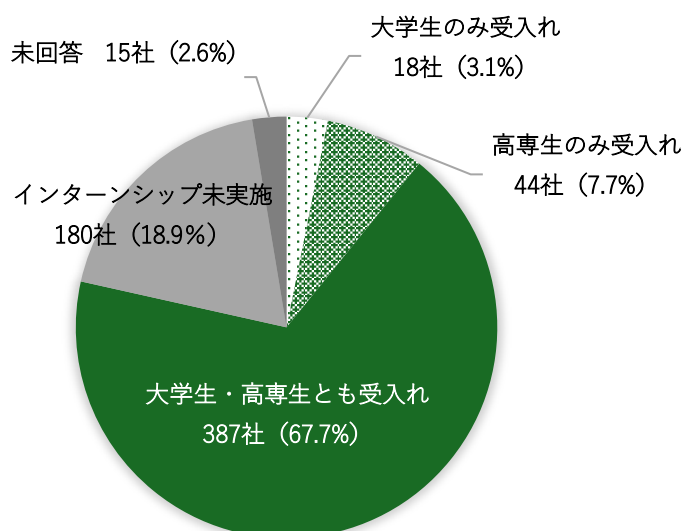
<2017 年との比較>

◎2023 年と 2017 年を比較すると、本科卒業生の強み（大学卒業生と比較した）の上位2位は 2017 年と同様の結果となり、下位3位内となる「リーダーの資質がある」「創造力がある」「問題解決能力がある」についても項目のラインナップは同様の結果であった。

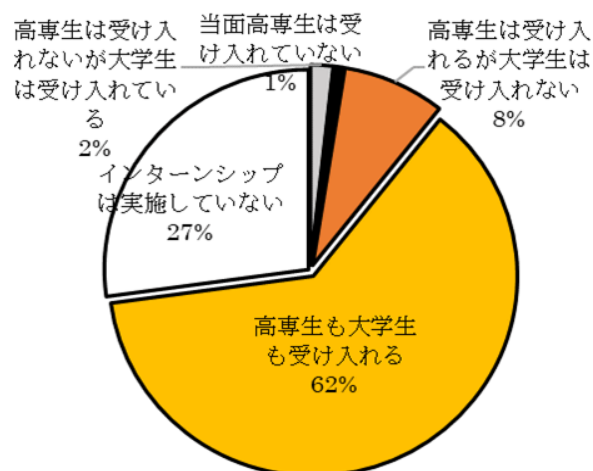
【インターンシップの受入について】

<2023 年>

本校卒業生（全企業からの回答）



<2017 年>



【インターンシップの受入について】

<2023 年>

◎本校生徒のインターンシップ受入状況において「高専生、大学生とも受け入れている」が全体の 7 割弱を占めている。

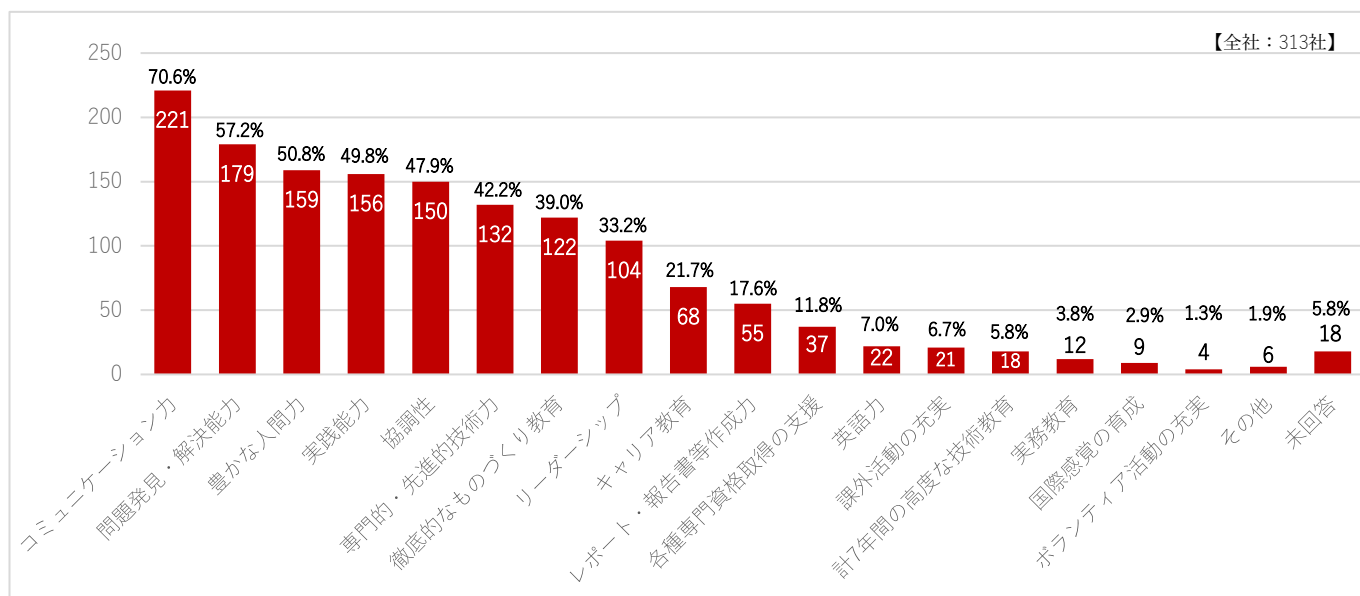
<2017 年と比較して>

◎2023 年と 2017 年を比較すると、本校生徒のインターンシップ受入状況は 1 割未満の増加となる。

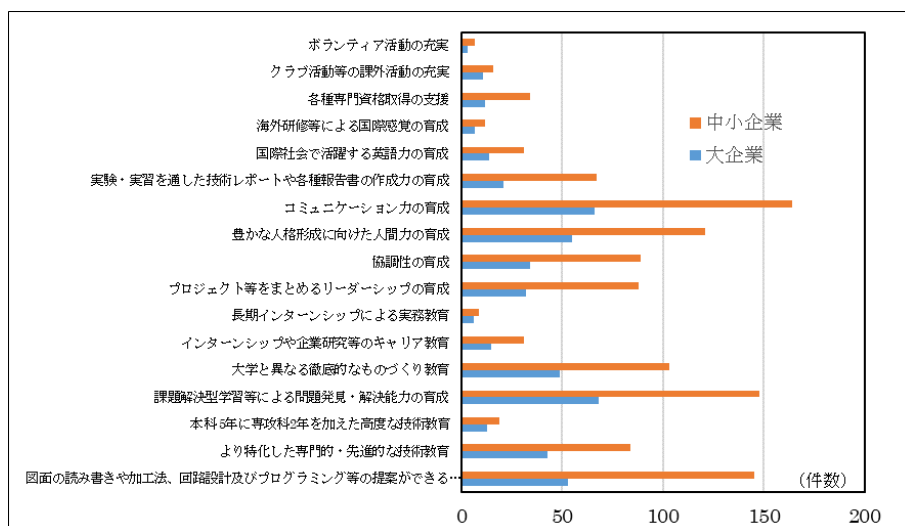
【本校の教育について望むこと】

<2023 年>

本科生（本科生採用企業からの回答）

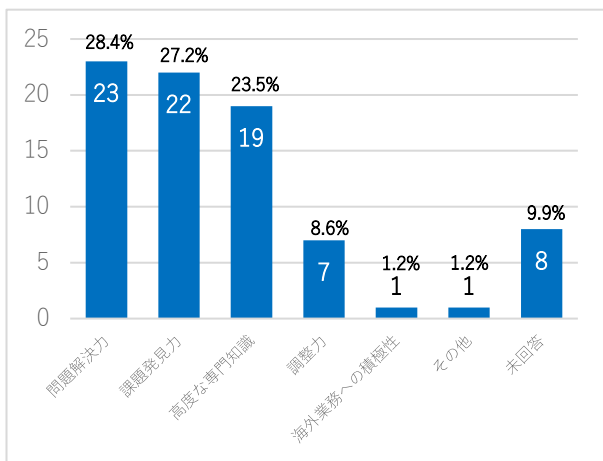


<2017 年>

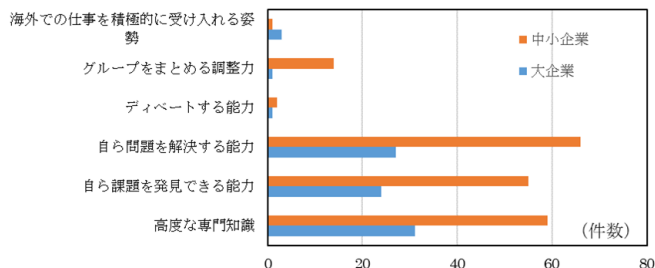


<2023 年>

専攻科生（専攻科採用企業からの回答）



<2017 年>



【本校の教育について望むこと】

<2023 年>

◎本科の教育について望むことの上位3位は順に「コミュニケーション力の育成」「課題解決型学習等による問題発見・解決能力の育成」「豊かな人格形成に向けた人間力の育成」となる。

中でも「コミュニケーション力の育成」は7割の企業が重視している。

◎専攻科の教育について望むことの上位3位は順に「自ら問題を解決する能力」「自ら課題を発見できる能力」「高度な専門知識」となる。

<2017 年と比較して>

◎2023 年と 2017 年を比較すると、本科の教育について望むことの上位2位は「コミュニケーション力の育成」「課題解決型学習等による問題発見・解決能力の育成」となっており、同様の結果であった。

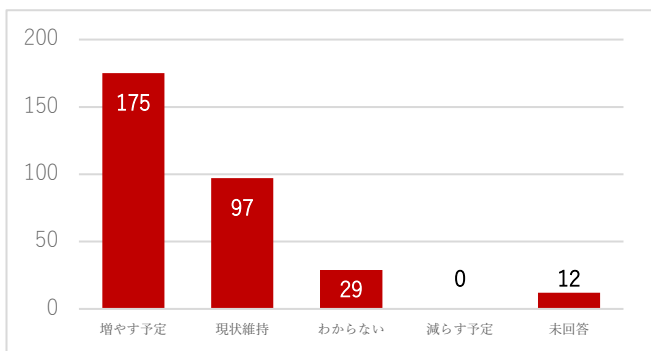
その他も概ね同じ順位となり、回答企業が求めることに変化はないことが窺える。

◎2023 年と 2017 年を比較すると、専攻科の教育について望むことの上位3位内はどちらも「自ら問題を解決する能力」「高度な専門知識」「自ら課題を発見できる能力」となり、項目のラインナップは同様の結果であった。

【採用意向】

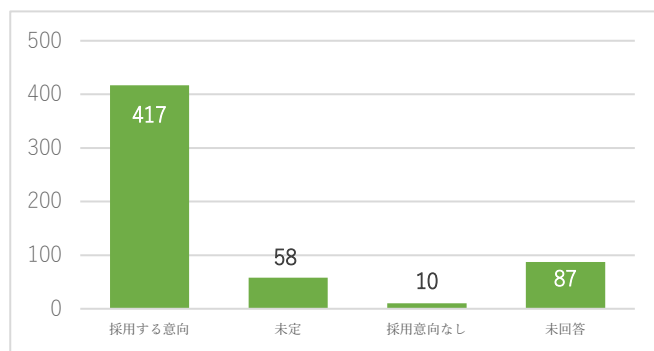
<2023 年>

本科卒業生（本科生採用企業からの回答）



<2023 年>

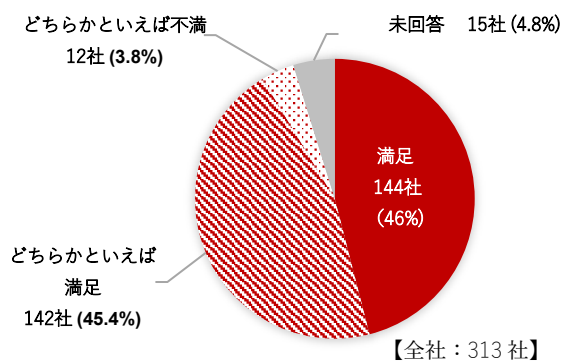
専攻科修了生（全企業からの回答）



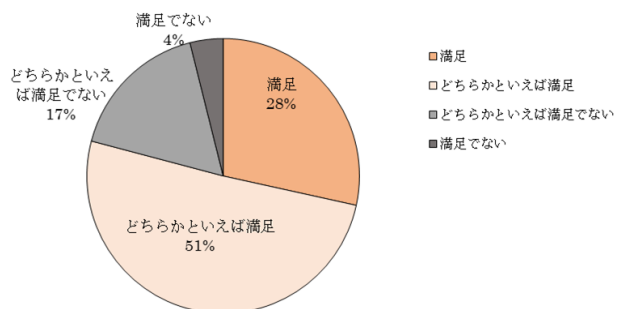
【本校の就職支援に対する評価】

<2023 年>

本科卒業生（本科生採用企業からの回答）



<2017 年>



【採用意向や就職支援活動に対する評価】

<2023 年>

◎本科卒業生の採用意向において「増やす意向がある」は全体の 6 割弱を占めている。

一方で「減らす予定がある」の回答は 0 件であった。

◎専攻科修了生の採用意向において「採用意向がある」は全体の 7 割強を占めている。

◎本校の就職活動支援に対する評価において「満足（満足+どちらかと言えば満足）」は全体の 9 割強を占めている。

<2017 年と比較して>

◎本校の就職活動支援において「満足（満足+どちらかと言えば満足）」は全体の 8 割弱を占めている。

2023 年は 2017 年と比較して満足度が 1 割強向上した。

第 3 部

調査結果報告まとめ

【本科卒業生について】

- ・2023 年調査における本科卒業生の採用経験がある企業は全体の 5 割強となり、中でも「機械システム工学」「電気電子工学」「情報通信工学」コース出身者を採用する企業からの回答が多かった。
職種の面では「設計」「メンテナンス」「生産技術（同率で製造）」で採用されるケースが多かったが、2017 年に上位 3 位以内であった「SE・PG」は順位を下げる形となった。
偶然、直近の採用活動では「SE・PG」を重視していなかったのか、AI 技術の発達や DX 化の影響で現場での需要に変動があったのかは定かではないが、ソフトウェア技術者の人材不足が予測される社会において、この結果は意外なものとなった。
- ・2023 年調査における本科卒業生の採用で重視されていたものは「人物（協調性・積極性）」「職務への適性」「専門分野の知識や学力」となり、これは 2017 年と同様の結果となる。
求められる人材については変化がないことが分かった。
ものづくり産業（社会全体にも共通するが）は人材不足の影響により、企業は人材確保や育成に課題を抱えている。その為、人物や職務適性を重視した採用を行うことで、採用後の離職者を抑え、求職者の定着率を高めること目指していると考えられる。
下記『本科卒業生を採用した理由』では自由回答の内容を抜粋しているが、
「技術力」を評価し採用する企業も確認ができており、人物や職務適性を重視する企業においては「専門分野の知識や学力」があることを前提に「人物や職務適性」を重視している可能性がある。

『本科卒業生を採用した理由』

<自由回答の一部抜粋>

- ・専門知識を多く有している為
 - ・高い技術力と技術に対する向上心が強い為
 - ・真面目な印象でやる気を感じられた
 - ・即戦力としての期待が大きい。
 - ・専門知識を有しており、弊社が求める人物像と合致していたため
 - ・当社の求める人材像と合致したため
 - ・勤勉さとコミュニケーション力に長けていたため
 - ・高専卒業者の研究熱心さに魅力を感じたため
 - ・人柄の良さと将来性
-
- ・本科卒業生の入社後の待遇は 2023 年と 2017 年で大きな変化はなく、全体の 4 割以上が「大学卒業生と同じ制度・システム」と回答した。「大学卒業生と異なる制度・システム」の回答割合では、2023 年の方が 2 割程度少なく、今回の結果からは大学卒業生との待遇格差は減少傾向にあると言える。
-
- ・2023 年調査における本科卒業生に対するニーズや期待の評価では全体の 9 割以上が「期待に込めている」と回答しており、業務遂行能力についても、全体の 9 割以上が「優れている」と回答している。
各指標に対する評価については 15 項目中 11 項目で 5 割以上「能力がある」と評価されている。
特に「工学技術に関する基礎知識」「勤勉さ」「学習力」「責任感」「応用力・実践力」の 5 項目については、7 割以上の回答企業から評価されている。
一方で「日本語力」「プレゼンテーション力」「リーダーシップ」「英語力」の 4 項目は 5 割を下回る結果となった。

下記『本科卒業生が「優れている」点』では自由回答の内容を抜粋しているが、「専門分野の知識や学力」以外にも評価されているものがあることが確認できた。

『本科卒業生が「優れている」点』

<自由回答の一部抜粋>

- ・専門性、学習力の高さと職業観を持っている点
 - ・基本的な知識ベース、問題解決力、発想力が優れていると感じます。
 - ・モノづくりのベースがあるので即戦力になれる。製造業の中で幅広いキャリアの可能性がある。
 - ・技術面でのアドバンテージがある
 - ・コミュニケーション能力に長けており、技術的な基礎知識が身についている
 - ・モノづくりに非常に熱心
 - ・大卒者より専門知識があり、業務への理解が早い
 - ・責任感を持って作業を遂行している
- ・2023 年調査における大学卒業生と比較した際の本科卒業生の強みは上位から順に「専門性が高い」「勤勉である」「責任感がある」となり、その中でも「専門性が高い」「勤勉である」は 5 割を上回る結果となった。一方で「リーダーの資質がある」については 1 割未満という結果であった。
- ・2023 年調査における本科の教育について望むこと上位 3 位は順に「コミュニケーション力の育成」「課題解決型学習等による問題発見・解決能力の育成」「豊かな人格形成に向けた人間力の育成」となる。特に「コミュニケーション力の育成」は 7 割の回答を得ている。
- ・2023 年調査における本科卒業生の定着率について、全体の 8 割強が「大学卒業生と同程度」と回答しており、2017 年と同様の結果であった。今後の本科卒業生の採用意向については、全体の 6 割弱が「増やす予定がある」と回答しており、「現状維持」は 3 割強の回答を得ていることから、今後の本科卒業生の採用数は増加していく可能性がある。

【専攻科修了生】

- ・2023 年調査における専攻科修了生の採用経験がある企業は全体の 1 割強となった。
職種の間では「設計」「メンテナンス」「設備」で採用されるケースが多くあり、「設備」に関しては、本科卒業生と比較して回答比率が高いことが特徴であった。
- ・2023 年調査における専攻科修了生の採用で重視されていたものは、本科卒業生と同様に「人物（協調性・積極性）」「職務への適性」「専門分野の知識や学力」となり、これは 2017 年と同様の結果となる。

下記『専攻科修了生を採用した理由』では自由回答の内容を抜粋しているが、本科卒業生と似た回答内容が多い印象を受けた。

『専攻科修了生を採用した理由』

<一部抜粋>

- ・専門知識を身につけている学生のため
- ・知識があり様々なことに興味を持っているから

- ・即戦力の方が多い
- ・技術的に優れているから
- ・専門性が高く、コミュニケーション力もあり当社で活躍している社員と共通点があった為
- ・当社の事業に対する興味・意欲を確認できたため
- ・好青年で弊社にとって欲しい人材であった

・2023 年調査における専攻科修了生の入社後の待遇では全体の 8 割弱が「大学卒業生と同じ制度・システム」と回答しており、これは本科卒業生よりも高い比率となる。

・2023 年調査における業務遂行能力については、本科卒業生と同様に全体の 9 割以上が「優れている」と回答している。

各指標に対する評価については 15 項目中 6 項目で 6 割以上「能力がある」と評価されている。

特に「学習力」「勤勉さ」「責任感」は 7 割以上の回答企業から高い評価を受けている。

一方で「リーダーシップ」「プレゼンテーション力」「英語力」の 3 項目は 5 割を下回る結果となった。

下記『専攻科修了生が「優れている」点』では自由回答の内容を抜粋している。

『専攻科修了生が「優れている」点』

<一部抜粋>

- ・実技などを学びさらにそれを専門的に高めている。
- ・専門知識が多いため、基礎がしっかりしている
- ・貴校の方は即戦力 また技術力を高める熱心さ
- ・率先して仕事に取り組んでいる

・2023 年調査における専攻科教育について望むことの上位 3 位内は「自ら問題を解決する能力」「自ら課題を発見できる能力」「高度な専門知識」となり、2017 年も同じ項目が 3 位以内であった。

【まとめ】

求められる人材、評価の結果、強みと認識されているものから鑑みると、本科卒業生、専攻科修了生のいずれも、現状は企業の求める人材の供給ができていることが窺える。一方で、本科卒業生への教育に求められているものは「コミュニケーション力の育成」「課題解決型学習等による問題発見・解決能力の育成」「豊かな人格形成に向けた人間力の育成」となり、専攻科修了生では「自ら問題を解決する能力」「自ら課題を発見できる能力」「高度な専門知識」であることから、今後はより専門性の高い知識や学力に加え、自ら考え自ら解決していこうとする自律的な人材が求められていくことが分かる。

第 4 部

設問及び単純集計

設問と単純集計

1. 回答いただいた企業について

1-1. 貴社の業種をおえらびください		回答数(社)	比率
選 択 肢	製造業	235	41.1%
	情報通信業	128	22.4%
	建設業	78	13.6%
	サービス業（他に分類されないもの）	36	6.3%
	学術研究・専門・技術サービス業	32	5.6%
	電気・ガス・熱供給・水道業	13	2.3%
	卸売・小売業	10	1.7%
	不動産・物品賃貸業	8	1.4%
	公務	4	0.7%
	医療・福祉業	4	0.7%
	複合サービス業	2	0.3%
	鉱業・採石業	1	0.2%
	金融・保険業	1	0.2%
	その他(上記以外)	20	3.5%
合 計		572	100.0%

1-2. 貴社の資本金をお答えください		回答数(社)	比率
選 択 肢	3 億円以上	231	40.4%
	1 億円以上 3 億円以下	82	14.3%
	5,000 万円以上 1 億円未満	96	16.8%
	5,000 万円未満	158	27.6%
	不明/あてはまらない	5	0.9%
合 計		572	100.0%

1-3. 貴社の従業員数をお答えください		回答数(社)	比率
選 択 肢	1,000 人以上	199	34.8%
	300 人~999 人	126	22.0%
	100 人~299 人	115	20.1%
	99 人以下	132	23.1%
合 計		572	100.0%

2. 本科卒業生についての設問

2-1. 本校の本科卒業生の採用状況を教えてください		回答数(社)	比率
選 択 肢	直近 5 年間に本科卒業生を採用した	202	35.3%
	直近 5 年間に本科卒業生を採用していない(それ以前は実績あり)	111	19.4%
	これまで本科卒業生は採用していない	259	45.3%
合 計		572	100.0%

2-2. 現在、貴社に勤務している本校の本科卒業生の人数をお教えてください		回答数(社)	比率
選 択 肢	1 人	104	18.2%
	2 人	53	9.3%
	3 人	27	4.7%
	4 人	22	3.8%
	5 人	13	2.3%
	6 人	10	1.7%
	7 人	8	1.4%
	8 人	4	0.7%
	9 人	3	0.5%
	10 人	2	0.3%
	11～20 人	26	4.5%
	21 人以上	13	2.3%
	0 または未回答	287	50.2%
合 計		572	100.0%

2-3. 貴社で採用実績がある本校の本科卒業生のコースをお教えてください (複数回答可)		回答数(社)
選 択 肢	機械システム工学コース	120
	生産システム工学コース	53
	電気電子工学コース	88
	電子情報工学コース	53
	情報通信工学コース	61
	ロボット工学コース	34
	航空宇宙工学コース	53
	医療福祉工学コース	36
	不明	51
	未回答	2
	合 計	313

2-4. 貴社で採用実績がある本校の本科卒業生の主な職種をお教えてください (複数回答可)		回答数(社)
選 択 肢	設計	102
	メンテナンス	70
	生産技術	68
	製造	68
	開発	58
	システムエンジニア・プログラマ	55
	設備	47
	フィールドエンジニアリング	39
	品質管理	34

	営業	15
	サポート	15
	その他	42
	未回答	6
合 計		313

2-5. 高専の本科卒業生の入社後の待遇（人事・給与・昇進等）についてお教えてください		回答数(社)	比率
選 択 肢	大学卒業生と異なる制度・システム	100	31.9%
	大学卒業生と同じ制度・システム	175	55.9%
	その他	30	9.6%
	未回答	8	2.6%
合 計		313	100.0%

2-6-1. 本校の本科学生の採用にあたって重視したこと【専門分野の知識・学力】		回答数(社)	比率
選 択 肢	大いに重視した	52	16.6%
	重視した	170	54.3%
	普通	75	24.0%
	それほど重視しなかった	7	2.2%
	重視しなかった	4	1.3%
	未回答	5	1.6%
合 計		313	100.0%

2-6-2. 本校の本科学生の採用にあたって重視したこと【職務への適正】		回答数(社)	比率
選 択 肢	大いに重視した	96	30.7%
	重視した	181	57.8%
	普通	31	9.9%
	それほど重視しなかった	0	0.0%
	重視しなかった	0	0.0%
	未回答	5	1.6%
合 計		313	100.0%

2-6-3. 本校の本科学生の採用にあたって重視したこと【人物（協調性・積極性）】		回答数(社)	比率
選 択 肢	大いに重視した	169	54.0%
	重視した	122	39.0%
	普通	17	5.4%
	それほど重視しなかった	0	0.0%
	重視しなかった	0	0.0%
	未回答	5	1.6%
合 計		313	100.0%

2-6-4. 本校の本科学生の採用にあたって重視したこと【即戦力であること】		回答数(社)	比率
選 択 肢	大いに重視した	24	7.7%
	重視した	76	24.3%
	普通	129	41.2%
	それほど重視しなかった	55	17.6%
	重視しなかった	24	7.7%
	未回答	5	1.6%
合 計		313	100.0%

2-7. 本校の本科卒業生は貴社の人材ニーズや期待に応えていますか		回答数(社)	比率
選 択 肢	十分応えている	249	79.6%
	どちらかといえば応えている	54	17.3%
	あまり応えていない	1	0.3%
	応えていない	1	0.3%
	未回答	8	2.6%
合 計		313	100.0%

2-8. (本校以外も含む) 高専の本科卒業生の入社後の定着率について教えてください		回答数(社)	比率
選 択 肢	大学卒業生に比べ定着率は高い	146	46.4%
	大学卒業生に比べ定着率は低い	11	3.5%
	大学卒業生と変わらない	110	35.1%
	わからない	42	13.4%
	未回答	4	1.3%
合 計		313	100.0%

2-9. 貴社業務を遂行するにあたり、大学や他の高専本科卒業生と比較した、本校の本科卒業生の評価をお教えてください		回答数(社)	比率
選 択 肢	優れている	131	41.9%
	同じ程度	171	54.6%
	劣っている	1	0.3%
	未回答	10	3.2%
合 計		313	100.0%

2-10-1. 本校本科卒業生に対する評価をお教えてください【学習力】		回答数(社)	比率
選択肢	大いにある	89	28.4%
	ある	157	50.2%
	普通	45	14.4%
	少し劣る	3	1.0%
	劣る	0	0.0%
	わからない	7	2.2%
	未回答	12	3.8%
合 計		313	100.0%

2-10-2. 本校本科卒業生に対する評価をお教えてください【コミュニケーション力】		回答数(社)	比率
選択肢	大いにある	49	15.7%
	ある	139	44.4%
	普通	93	29.7%
	少し劣る	11	3.5%
	劣る	3	1.0%
	わからない	5	1.6%
	未回答	13	4.2%
合 計		313	100.0%

2-10-3. 本校本科卒業生に対する評価をお教えてください【社会性】		回答数(社)	比率
選択肢	大いにある	42	13.4%
	ある	131	41.9%
	普通	109	34.8%
	少し劣る	9	2.9%
	劣る	3	1.0%
	わからない	6	1.9%
	未回答	13	4.2%
合 計		313	100.0%

2-10-4. 本校本科卒業生に対する評価をお教えてください【工学・技術に対する基礎知識】		回答数(社)	比率
選択肢	大いにある	94	30.0%
	ある	156	49.8%
	普通	40	12.8%
	少し劣る	1	0.3%
	劣る	0	0.0%
	わからない	8	2.6%
	未回答	14	4.5%
合 計		313	100.0%

2-10-5. 本校本科卒業生に対する評価をお教えてください【応用力・実践力】		回答数(社)	比率
選 択 肢	大いにある	71	22.7%
	ある	150	47.9%
	普通	68	21.7%
	少し劣る	2	0.6%
	劣る	0	0.0%
	わからない	9	2.9%
	未回答	13	4.2%
合 計		313	100.0%

2-10-6. 本校本科卒業生に対する評価をお教えてください【創造力】		回答数(社)	比率
選 択 肢	大いにある	31	9.9%
	ある	138	44.1%
	普通	115	36.7%
	少し劣る	3	1.0%
	劣る	1	0.3%
	わからない	12	3.8%
	未回答	13	4.2%
合 計		313	100.0%

2-10-7. 本校本科卒業生に対する評価をお教えてください【データ処理能力】		回答数(社)	比率
選 択 肢	大いにある	38	12.1%
	ある	148	47.3%
	普通	96	30.7%
	少し劣る	0	0.0%
	劣る	1	0.3%
	わからない	17	5.4%
	未回答	13	4.2%
合 計		313	100.0%

2-10-8. 本校本科卒業生に対する評価をお教えてください【問題解決力】		回答数(社)	比率
選 択 肢	大いにある	46	14.7%
	ある	150	47.9%
	普通	85	27.2%
	少し劣る	3	1.0%
	劣る	1	0.3%
	わからない	14	4.5%
	未回答	14	4.5%
合 計		313	100.0%

2-10-9. 本校本科卒業生に対する評価をお教えてください【プレゼンテーション力】		回答数(社)	比率
選択肢	大いにある	27	8.6%
	ある	92	29.4%
	普通	148	47.3%
	少し劣る	14	4.5%
	劣る	4	1.3%
	わからない	15	4.8%
	未回答	13	4.2%
合 計		313	100.0%

2-10-10. 本校本科卒業生に対する評価をお教えてください【英語力】		回答数(社)	比率
選択肢	大いにある	3	1.0%
	ある	34	10.9%
	普通	167	53.4%
	少し劣る	29	9.3%
	劣る	11	3.5%
	わからない	54	17.3%
	未回答	15	4.8%
合 計		313	100.0%

2-10-11. 本校本科卒業生に対する評価をお教えてください【日本語力】		回答数(社)	比率
選択肢	大いにある	47	15.0%
	ある	106	33.9%
	普通	132	42.2%
	少し劣る	7	2.2%
	劣る	1	0.3%
	わからない	6	1.9%
	未回答	14	4.5%
合 計		313	100.0%

2-10-12. 本校本科卒業生に対する評価をお教えてください【リーダーシップ】		回答数(社)	比率
選択肢	大いにある	18	5.8%
	ある	97	31.0%
	普通	144	46.0%
	少し劣る	22	7.0%
	劣る	1	0.3%
	わからない	18	5.8%
	未回答	13	4.2%
合 計		313	100.0%

2-10-13. 本校本科卒業生に対する評価をお教えてください【行動力】		回答数(社)	比率
選 択 肢	大いにある	45	14.4%
	ある	143	45.7%
	普通	98	31.3%
	少し劣る	8	2.6%
	劣る	0	0.0%
	わからない	7	2.2%
	未回答	12	3.8%
合 計		313	100.0%

2-10-14. 本校本科卒業生に対する評価をお教えてください【勤勉さ】		回答数(社)	比率
選 択 肢	大いにある	95	30.4%
	ある	152	48.6%
	普通	47	15.0%
	少し劣る	0	0.0%
	劣る	1	0.3%
	わからない	4	1.3%
	未回答	14	4.5%
合 計		313	100.0%

2-10-15. 本校本科卒業生に対する評価をお教えてください【責任感】		回答数(社)	比率
選 択 肢	大いにある	77	24.6%
	ある	162	51.8%
	普通	52	16.6%
	少し劣る	3	1.0%
	劣る	1	0.3%
	わからない	5	1.6%
	未回答	13	4.2%
合 計		313	100.0%

2-11. 大学卒業生と比較して、本校の本科卒業生に当てはまる項目をお教えてください（複数回答可）		回答数(社)	比率
選 択 肢	専門性が高い	197	62.9%
	勤勉である	180	57.5%
	責任感がある	114	36.4%
	対応力がある	113	36.1%
	協調性がある	100	31.9%
	即戦力である	95	30.4%
	問題解決能力が高い	66	21.1%
	創造力がある	39	12.5%
	リーダーの資質がある	30	9.6%
	その他	11	3.5%

	未回答	16	5.1%
合 計		313	100.0%

2-12. 今後、本校本科の教育においてどのようなことを望みますか。(5 つまで回答可)		回答数(社)	比率
選 択 肢	コミュニケーション力の育成	221	70.6%
	課題解決型学習等による問題発見・解決能力の育成	179	57.2%
	豊かな人格形成に向けた人間力の育成	159	50.8%
	実践能力の育成	156	49.8%
	協調性の育成	150	47.9%
	より特化した専門的・先進的な技術教育	132	42.2%
	大学と異なる徹底的なものづくり教育	122	39.0%
	プロジェクト等をまとめるリーダーシップの育成	104	33.2%
	インターンシップや企業研究等のキャリア教育	68	21.7%
	実験・実習を通じた技術レポートや各種報告書の作成力の育成	55	17.6%
	各種専門資格取得の支援	37	11.8%
	国際社会で活躍する英語力の育成	22	7.0%
	クラブ活動等の課外活動の充実	21	6.7%
	本科5年に専攻科2年を加えた計7年間の高度な技術教育	18	5.8%
	長期インターンシップによる実務教育	12	3.8%
	海外研修等による国際感覚の育成	9	2.9%
	ボランティア活動の充実	4	1.3%
	その他	6	1.9%
	未回答	18	5.8%
合 計		313	100.0%

2-13. 本校の就職支援活動についてどのように評価されますか		回答数(社)	比率
選 択 肢	満足	144	46.0%
	どちらかといえば満足	142	45.4%
	どちらかといえば満足ではない	12	3.8%
	満足ではない	0	0.0%
	未回答	15	4.8%
合 計		313	100.0%

2-14. 今後、本校の本科卒業生の採用を増やしますか		回答数(社)	比率
選 択 肢	増やす	175	55.9%
	現状維持	97	31.0%
	わからない	29	9.3%
	減らす	0	0.0%
	未回答	12	3.8%
合 計		313	100.0%

2-15. 貴社のインターンシップ受入れ状況について教えてください		回答数(社)	比率
選択肢	高専生は受入れないが大学生は受入れている	18	3.1%
	高専生は受入れるが大学生は受入れない	44	7.7%
	高専生、大学生とも受入れている	387	67.7%
	インターンシップは受入れていない	108	18.9%
	未回答	15	2.6%
合 計		572	100.0%

3. 専攻科修了生についての設問

3-1. 本校の専攻科修了生の採用状況を教えてください		回答数(社)	比率
選択肢	直近 5 年間に専攻科修了生を採用した	38	6.6%
	直近 5 年間に専攻科修了生を採用していない(それ以前は実績あり)	43	7.5%
	これまで専攻科修了生は採用していない	486	85.0%
	未回答	5	0.9%
合 計		572	100.0%

3-2. 今後、専攻科修了生の採用意向はありますか		回答数(社)	比率
選択肢	ある	417	72.9%
	ない	10	1.7%
	わからない・未定	58	10.1%
	未回答	87	15.2%
合 計		572	100.0%

3-3. 現在、貴社に勤務している本校の専攻科修了生の人数をお教えてください		回答数(社)	比率
選択肢	1 人	45	7.9%
	2 人	12	2.1%
	3 人	1	0.2%
	4 人	2	0.3%
	5 人	1	0.1%
	6 人	1	0.2%
	10 人	1	0.2%
	0 または未回答	509	89.0%
合 計		572	100.0%

3-4. 貴社で採用実績がある本校の専攻科修了生の主な職種をお教えてください (複数回答可)		回答数(社)
選択肢	設計	27
	メンテナンス	16
	設備	15

	開発	13
	生産技術	11
	製造	11
	フィールドエンジニア	9
	システムエンジニア・プログラマ	8
	品質管理	7
	営業	4
	サポート	2
	その他	6
	未回答	6
合 計		81

3-5. 高専の専攻科修了生の入社後の待遇（人事・給与・昇進等）について お教えてください		回答数(社)	比率
選 択 肢	大学卒業生と異なる制度・システム	7	8.6%
	大学卒業生と同じ制度・システム	64	79.0%
	その他	7	8.6%
	未回答	3	3.7%
合 計		81	100.0%

3-6-1. 本校の専攻科修了生の採用にあたって重視したこと【専門分野の知識・学力】		回答数(社)	比率
選 択 肢	大いに重視した	14	17.3%
	重視した	49	60.5%
	普通	10	12.3%
	それほど重視しなかった	2	2.5%
	重視しなかった	1	1.2%
	未回答	5	6.2%
合 計		81	100.0%

3-6-2. 本校の専攻科修了生の採用にあたって重視したこと【職務への適正】		回答数(社)	比率
選 択 肢	大いに重視した	23	28.4%
	重視した	43	53.1%
	普通	9	11.1%
	それほど重視しなかった	0	0.0%
	重視しなかった	0	0.0%
	未回答	6	7.4%
合 計		81	100.0%

3-6-3. 本校の専攻科修了生の採用にあたって重視したこと【人物（協調性・積極性）】		回答数(社)	比率
選 択 肢	大いに重視した	38	46.9%
	重視した	32	39.5%
	普通	6	7.4%
	それほど重視しなかった	0	0.0%
	重視しなかった	0	0.0%
	未回答	5	6.2%
合 計		81	100.0%

3-6-4. 本校の専攻科修了生の採用にあたって重視したこと【即戦力であること】		回答数(社)	比率
選 択 肢	大いに重視した	12	14.8%
	重視した	20	24.7%
	普通	25	30.9%
	それほど重視しなかった	18	22.2%
	重視しなかった	1	1.2%
	未回答	5	6.2%
合 計		81	100.0%

3-7. 貴社業務を遂行するにあたり、大学や他の高専専攻科修了生と比較した、本校の専攻科修了生の評価をお教えてください		回答数(社)	比率
選 択 肢	優れている	37	45.7%
	同じ程度	39	48.1%
	劣っている	0	0.0%
	未回答	5	6.2%
合 計		81	100.0%

3-8-1. 本校専攻科修了生に対する評価をお教えてください【学習力】		回答数(社)	比率
選 択 肢	大いにある	24	29.6%
	ある	38	46.9%
	普通	7	8.6%
	少し劣る	1	1.2%
	劣る	0	0.0%
	わからない	3	3.7%
	未回答	8	9.9%
合 計		81	100.0%

3-8-2. 本校専攻科修了生に対する評価をお教えてください【コミュニケーション力】		回答数(社)	比率
選択肢	大いにある	16	19.8%
	ある	32	39.5%
	普通	17	21.0%
	少し劣る	4	4.9%
	劣る	1	1.2%
	わからない	3	3.7%
	未回答	8	9.9%
合 計		81	100.0%

3-8-3. 本校専攻科修了生に対する評価をお教えてください【社会性】		回答数(社)	比率
選択肢	大いにある	13	16.0%
	ある	35	43.2%
	普通	17	21.0%
	少し劣る	3	3.7%
	劣る	1	1.2%
	わからない	3	3.7%
	未回答	9	11.1%
合 計		81	100.0%

3-8-4. 本校専攻科修了生に対する評価をお教えてください【工学・技術に対する基礎知識】		回答数(社)	比率
選択肢	大いにある	27	33.3%
	ある	29	35.8%
	普通	11	13.6%
	少し劣る	1	1.2%
	劣る	0	0.0%
	わからない	5	6.2%
	未回答	8	9.9%
合 計		81	100.0%

3-8-5. 本校専攻科修了生に対する評価をお教えてください【応用力・実践力】		回答数(社)	比率
選択肢	大いにある	18	22.2%
	ある	34	42.0%
	普通	14	17.3%
	少し劣る	1	1.2%
	劣る	0	0.0%
	わからない	5	6.2%
	未回答	9	11.1%
合 計		81	100.0%

3-8-6. 本校専攻科修了生に対する評価をお教えてください【創造力】		回答数(社)	比率
選 択 肢	大いにある	9	11.1%
	ある	38	46.9%
	普通	21	25.9%
	少し劣る	1	1.2%
	劣る	0	0.0%
	わからない	4	4.9%
	未回答	8	9.9%
合 計		81	100.0%

3-8-7. 本校専攻科修了生に対する評価をお教えてください【データ処理能力】		回答数(社)	比率
選 択 肢	大いにある	11	13.6%
	ある	36	44.4%
	普通	19	23.5%
	少し劣る	1	1.2%
	劣る	0	0.0%
	わからない	6	7.4%
	未回答	8	9.9%
合 計		81	100.0%

3-8-8. 本校専攻科修了生に対する評価をお教えてください【問題解決力】		回答数(社)	比率
選 択 肢	大いにある	15	18.5%
	ある	39	48.1%
	普通	13	16.0%
	少し劣る	2	2.5%
	劣る	0	0.0%
	わからない	4	4.9%
	未回答	8	9.9%
合 計		81	100.0%

3-8-9. 本校専攻科修了生に対する評価をお教えてください【プレゼンテーション力】		回答数(社)	比率
選 択 肢	大いにある	8	9.9%
	ある	25	30.9%
	普通	27	33.3%
	少し劣る	6	7.4%
	劣る	0	0.0%
	わからない	7	8.6%
	未回答	8	9.9%
合 計		81	100.0%

3-8-10. 本校専攻科修了生に対する評価をお教えてください【英語力】		回答数(社)	比率
選 択 肢	大いにある	0	0.0%
	ある	15	18.5%
	普通	38	46.9%
	少し劣る	7	8.6%
	劣る	1	1.2%
	わからない	11	13.6%
	未回答	9	11.1%
合 計		81	100.0%

3-8-11. 本校専攻科修了生に対する評価をお教えてください【日本語力】		回答数(社)	比率
選 択 肢	大いにある	8	9.9%
	ある	34	42.0%
	普通	27	33.3%
	少し劣る	1	1.2%
	劣る	0	0.0%
	わからない	3	3.7%
	未回答	8	9.9%
合 計		81	100.0%

3-8-12. 本校専攻科修了生に対する評価をお教えてください【リーダーシップ】		回答数(社)	比率
選 択 肢	大いにある	7	8.6%
	ある	29	35.8%
	普通	27	33.3%
	少し劣る	6	7.4%
	劣る	0	0.0%
	わからない	4	4.9%
	未回答	8	9.9%
合 計		81	100.0%

3-8-13. 本校専攻科修了生に対する評価をお教えてください【行動力】		回答数(社)	比率
選 択 肢	大いにある	14	17.3%
	ある	34	42.0%
	普通	18	22.2%
	少し劣る	3	3.7%
	劣る	0	0.0%
	わからない	4	4.9%
	未回答	8	9.9%
合 計		81	100.0%

3-8-14. 本校専攻科修了生に対する評価をお教えてください【勤勉さ】		回答数(社)	比率
選 択 肢	大いにある	27	33.3%
	ある	35	43.2%
	普通	7	8.6%
	少し劣る	1	1.2%
	劣る	0	0.0%
	わからない	3	3.7%
	未回答	8	9.9%
合 計		81	100.0%

3-8-15. 本校専攻科修了生に対する評価をお教えてください【責任感】		回答数(社)	比率
選 択 肢	大いにある	19	23.5%
	ある	40	49.4%
	普通	9	11.1%
	少し劣る	1	1.2%
	劣る	0	0.0%
	わからない	4	4.9%
	未回答	8	9.9%
合 計		81	100.0%

3-9. 本校の専攻科においてどのような教育を望まれますか。		回答数(社)	比率
選 択 肢	高度な専門知識	19	23.5%
	自ら課題を発見できる能力	22	27.2%
	自ら問題を解決する能力	23	23.5%
	ディベート力	0	0.0%
	グループをまとめる調整力	7	8.6%
	海外での仕事を積極的に受け入れる姿勢	1	1.2%
	その他	1	1.2%
	未回答	8	9.9%
合 計		81	100.0%